



## 本会の目的

本会は、「道徳経済一体」の理念に基づき、産業人教育の推進ならびに繁栄と永続の企業の創造につとめ、経済倫理の確立および経済界の安定的発展に寄与し、地球市民の一員として社会に貢献することを目的としています。

日本道経会会員社数/互敬塾塾生  
729社 / 444名

(令和6年4月1日現在)

## 巻頭言

## 道経一体経営の取り組み

(一社)日本道経会 理事  
東京支部 代表幹事  
株式会社みやこ食品 代表取締役社長

### 鹿倉 弘之



東京支部代表幹事の鹿倉弘之と申します。かれこれ、8年ほど前でしょうか?日本道経会の先生から東京支部の幹事向けにこのようなメールがありました。

「何度も繰り返して本部の道経一体経営講座を受講する企業は、とくに社員同行で受講する企業は「例外なく」、しかも「急速に」業績向上が実現します。(中略)念のために書きますが、ときどき思いついた頃に受講する企業がとくに良くなる傾向は見当たりません。繰り返し受講する企業、それも幹部社員同行で受講する企業だけの話です。2, 3年に一回程度では大きな差は感じられません。」

このように言われ、私自身は12回受講、夫婦でも4回受講、新入社員セミナーと幹部セミナーも7年連続で従業員を参加させていただいておりますが、一番重要だと言われていた講座の幹部同行受講は、これだと思った幹部を誘っては断られ続け、ようやく行くと言ってくれる幹部が現れましたが、人不足で参加できなかったり、

結局辞めてしまうなど、不思議なほどご縁がありませんでした。しかし、7年間かかりましたが、一昨年の講座でようやく一人の幹部の同行受講が叶い、今年の2月に行われた講座では、私と妻と幹部2名で参加させていただきました。

幹部の同行受講をすることで何が変わったかと言いますと、年に1回の雇用面談も、1番大切な経営計画発表会も、週3日の朝礼も、受講3度目の幹部を中心に若いメンバー8名で取り仕切ってくれています。道経一体経営の価値観を共有することで、私ひとりでぐいぐい引っ張ってきた個人商店から、みんなで頑張り、知恵を出す組織になってきていると実感しています。私は決して、企業センターのまわし者ではありませんが、道経一体経営講座は自信をもってお勧めさせていただきます。

年初から能登半島地震、飛行機事故、異国の戦争も終わりません。かの国の暴挙もひどくなっています。しかし学問はそんな困難な時こそ威力を発揮します。我々が目指す100年以上続く企業は、関東大震災も、第2次世界大戦も乗り越えておられます。今こそ、この素晴らしい道経一体経営をしっかりと学び、実践し、共に乗り越えてまいりましょう。

## 東京支部 三方善研究会

令和6年2月15日(木)7時より、東京新宿の麗澤大学新宿キャンパスにて日本道経会東京支部の三方善研究会が開催されました。「企業永続のためのファミリービジネスと事業継承」と題し、公益財団法人モラロジー道徳教育財団の企業センター・センター長である永治達彦氏にお話しいただきました。

私自身、2月9日(金)～11日(日)に、千葉県柏市で開催された道経一体経営講座でもファミリービジネスと事業継承を学ぶ機会があり、その振り返りも兼ねた学びとなりました。大切なのは、学びを重ねることであり、ファミリービジネスと事業継承についても道経一体経営講座では気づくことができなかった発見がありました。

「道徳は家庭から」という教えがあります。私は両親がモラロジーに触れていた家庭ではありません。私から道経一体の学びをはじめている家庭です。ただ手前味噌にはなりますが、父母姉また義父義母、そして妻息子と家族が非常に仲の良いことが自負としてあります。私の道徳への興味は「家族との絆」が生んだものなのかもしれないと感じました。

また、弊社の創業者は私であるため、いまだ事業継承をしたことがない会社です。しかし、弊社のお客様にはファミリービジネスを営む会社様が多く、後継者の事業テーマとして「インターネット活用」が上がるケースが多々あります。お客様の事業承継についての「背景を知る」という点においても私自身の学びが深まった研究会となりました。

事業部 石田 麻琴



## 滋賀支部 道経一体経営セミナー



令和6年2月17日(土)にクサツエストピアホテルにおきまして、滋賀支部「道経一体経営セミナー」を3部構成にて開催致しました。第1講・第3講を(株)みやこ食品 代表取締役社長であり公益財団法人モラロジー道徳教育財団 MBI の鹿倉弘之氏に、第2講を関西紙料(株) 取締役会長であり公益財団法人モラロジー道徳教育財団 MBI の澤田修一氏にご講演を頂きました。

第1講では、鹿倉氏が社業を引き継がれた当初の頃のお話をして頂きました。お兄様や義理のお姉様との関係、お弁当への異物混入事件の発生、低収益性により社員の待遇の悪い状況であったこと、会社周辺が汚く周辺住民から苦情が出ていたこと等をお話頂きました。そのような中、モラロジーや日本道経会のセミナーに参加し

て本格的に経営の勉強をすることとなり、先生をお呼びして経営の指導を直接仰ぐことにされたお話を頂きました。「良い会社にする→給料をあげる→良い人に残ってもらう」このサイクルを確立するには20年間かかる。財政面の転換をする為、リスクの高い短期借入から低金利で長期の借入れにする。他社との差別化により、価格競争からの脱却を図る。具体的には①おかずとご飯、汁物を分けて、温かいものを温かい状態でお届けする②配達時に安否確認を行う(他社のドライバーはドアに引っかけた配達終了するが、家に入り、顔色を見てケアマネージャーや親族に連絡を入れることで多くの命を救ってきた)③お客様にバースデーカードを贈る。

第3講では、社員への取り組み、ご両親とのお別れ、そしてお子様との関係や事業承継のお話を頂きました。

第2講では、澤田氏よりお父様の経営への取り組みから事業承継に至った経緯や、モラロジーとの出会いについてご講演を頂きました。お父様は、昭和26年に不渡りを受けて倒産された会社を昭和30年に復活をされ、昭和56年には無借金経営、現金取引、社員への月次決算報告会を開催されたお話を頂きました。また、昭和40年には社員が会社のお金を横領したが、出来るだけ厳罰のかからないようお願いをされたお話や、昭

和 50 年には 1 億円をかけて導入したアメリカ製の騒音等の問題が発生し近隣からの苦情が出たが改善していったお話等をして頂きました。思いやりの心・感謝の心がつくる私(幸せな)の人生である。人のことを思いやり、感謝することで幸せな人生を送ることが出来るのである。人の為、地域の為、世間の為にこれからの人生を捧げて、自分さえ良ければ良い生き方ではなく、自分の行いを背

中で見せる、見本をみせられる生き方をしたいとお話して頂きました。

両氏のご講演により大変有意義なセミナーを開催することが出来ました。改めまして鹿倉氏、澤田氏に感謝申し上げます。滋賀支部のセミナー報告とさせていただきます。

研修部会長 武田 正大

## 石川・富山支部 道経一体経営セミナー

令和 6 年 2 月 19 日 (月) 石川・富山支部道経一体経営セミナーをホテル金沢にて開催しました。講師として一般社団法人日本道経会副会長の林章浩氏をお迎えしました。18 時 30 分より 50 分 2 コマの講義をして頂きました。1 コマ目は企業継続へのチャレンジとして講師の会社が目指している「道経一体の経営」と「品性資本の経営」についての解説でした。パワーポイントの資料にそってわかりやすい内容の講義でした。2 コマ目は道経一体経営の究極の目的(貢献)=人づくりについて林講師自身の貴重な体験を通しての気づきと学びについてお話し頂きました。講師が入社してから今日まで道経一体経営理論にのっとり人づくり経営が段々とかたちとなってきたことがよく理解できたお話しでした。そして講演会後の懇親会では数名の感想発表をいただきました。感想のなかで多かったのは「人づくり経営の難しさ」と「大切さ」の話で

した。やはりこれからの会社経営は道経一体経営だという事を再確認させていただき、今後益々勉強して精進することを心に誓ったセミナーとなりました。

事務局長 井川 徹



## 福岡支部 道経一体経営セミナー

令和 6 年 2 月 28 日 (水) 八百治博多ホテル(福岡市博多区)において、福岡支部の道経一体経営セミナーを開催いたしました。当セミナーは福岡支部主催の 20 数回を数える歴史ある経営セミナーですが、今回予想を上回る 101 名の参加者がお越しくださいました。講師に麗澤大学外国語学部准教授の橋本富太郎氏をお招きして、「廣池千九郎の道経一体思想」をテーマに 50 分 3 コマの講義して頂きました。講義では「長年続いている企業は自社の歴史というものを大切にしており、創業時から現在まで様々な資料をアーカイブとして残している傾向にある」とのこと。歴史を大切に、先人の残した資料を後世へ残す重要性を提唱した廣池千九郎の実例を説明して頂きました。また、歴代の天皇は常に国民の幸福を願い、どんな時代でもそれは変わらないという皇室の伝統精神を解説していただき、企業が永続するため

の様々なヒントを教えてくださいました。パワーポイントを用いたわかりやすく丁寧な講義で、おかげさまでとても充実したセミナーとなりました。

博多グループ長 木下 恭輔



## 滋賀支部 3月例会

令和6年3月12日（火）にクサツエストピアホテルにて、公益財団法人モラロジー道德教育財団 企業センター長 永治達彦氏を講師にお迎えして、「道経一体経営に基づくファミリービジネス経営と事業継承」をテーマにご講演いただきました。

「真の富」については、澁澤栄一氏の「論語と算盤は、余が商売上の基礎を論語の上に置く信念である」という教えと廣池千九郎博士の「利を射らずして、富を致す術を行う。無形の徳を生ず」という教えが共通していること。

道徳一体の経営が、「人づくり」という目的を確立して業績を向上させ、結果として致富の経営（儲かる経営）を実現するためのプロセスとサイクルは、

1. 企業経営の究極的な目的は「人づくり」
2. 企業の究極的目標は「永続」
3. 累代で致富の経営を実現し、末広がりを持続発展にあること。

「ファミリービジネス（同族企業）の最大の強みは、同族企業であること。しかし、その最大の弱みも同族企業であることに原因がある」ということ。

また、「伝統なき企業団体はみな「紛擾」を極めている」

※紛擾（ふんじょう）=もめごと、ゴタゴタ

「伝統を護る人が伝統に護られる」など、ファミリービジネスの要諦をレジュメにもとづき分かり易くご指導いただきました。

滋賀支部の令和5年度の最終例会に公私ご多忙の中、ご出講いただきました永治達彦講師に深く感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

事務局長 塚田 耕司



## 互敬塾長崎支部 勉強会



令和6年3月15日（金）17時より長崎県西彼杵郡長与町にあります津野田ゴム加工所様の工場見学と体験発表を開催しました。参加者10名

はじめに津野田社長様から会社内容などのお話を聞いたあと、工場見学をさせて頂き、その後体験発表して頂きました。

有限会社津野田ゴム加工所は1978年創業、津野田幹太社長は3代目で19歳の時に家業に就き、2020年に社長に就任されました。

主な仕事としては造船や発電プラント、半導体装置など幅広い業種の工業用ゴム製品を製造されています。工場には

28台の様々な機械と7台の3Dプリンターを導入し多種多様な物にもチャレンジされ、最近では長与で作られていた伝統工芸「三彩焼」をシリコンゴムで現代風にリバイバルしたり製品を作る際に出るゴムの粉を使用して軍艦島をイメージした鉢植えを制作したりとオリジナルな製品づくりに取り組まれています。

長崎から全国に視野を広げ、SNSでの配信により新しい仕事に繋がり、最近では多くのメディアにも出演されています。

社長の思いとして、スタッフが良い環境で仕事が進められるようにDX化や人材育成に力を入れられており、参加者は驚きと津野田社長の人づくりに対する強い思いを感じる事が出来ました。体験発表後も質問や感想がたくさんでたり、大変実になる勉強会になりました。

その後の懇親会もいろいろなお話が聞けて、有意義な時間となりました。

塾生、日本道経会員、オブザーバーの方、ご参加いただきありがとうございました。

長崎支部長 山口 年彦

本会報のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

NIHON DOHKEIKAI <http://www.ndk.gr.jp>

一般社団法人

発行：日本道経会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1  
TEL. (04) 7173-3172 FAX. (04) 7173-3134  
E-mail office@ndk.gr.jp

事務局だより



新年度に入り、桜咲く季節となりました。日本道経会も創立25周年となります。こうして継続できたのも、これまでご尽力いただきました先人先輩のおかげと感謝しております。今後も良き伝統を引き継ぎ、道経一体経営・三方よし経営の考えを多くの方にお伝えしていければと思っております。

本部事務局